

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
単元株式数	1,000株
剰余金配当基準日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL 0120-232-711(通話料無料)
証券コード	3105
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nisshinbo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株式に関する 住所変更等のご照会および お届出について	株式に関するお手続き(届出住所・姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会およびお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、いずれかの窓口にご連絡ください。 【証券会社で口座を開設されている株主様】 ……当該証券会社にご連絡ください。 【証券会社で口座を開設されていない株主様】 ……三菱UFJ信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)
特別口座について	株券電子化の施行日(2009年1月5日)前に証券保管振替機構(ほふり)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三菱UFJ信託銀行に開設された特別口座に記録されております。 特別口座の詳細につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。 各種届出用紙のご請求は下記のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。 TEL 0120-244-479(通話料無料) http://www.tr.mufg.jp/daikou/



NISSHINBO

第167期 中間期

株主通信

2009年4月1日 » 2009年9月30日



NISSHINBO

〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11
TEL : 03-5695-8833(代) FAX : 03-5695-8970
<http://www.nisshinbo.co.jp/>



日清紡ホールディングス株式会社



ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、世界経済にとって試練の時となりました。米国のサブプライムローン問題に端を発する金融危機により、世界経済はデフレスパイラルというべき厳しい後退局面を迎え、その影響は未だ続いております。

世界経済の荒波の中で、当社グループは、不況期は景気回復後に向けた準備期間ととらえ、事業のあらゆる贅肉をそぎ落とし、グループをあげた高収益体質への転換や環境・エネルギー関連の新規事業を拡大することにより、新たな成長軌道をつかんでまいります。

新しくなった当社グループに、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

鵜崎 静

(うざわ しずか)

日清紡グループは、「環境カンパニー」を目指し、新たな成長軌道へ。

当第2四半期(中間期)業績について

当第2四半期(中間期)における経済環境は、昨年来の長期化する世界同時不況の影響を受け、企業収益や設備投資、個人消費などが低迷し、厳しい状況が続きました。

こうした中で当社グループは、分社化により設立した事業会社の経営効率を高めグループ全体での企業価値向上を図るとともに、環境・エネルギー分野の事業拡大を推進してまいりました。しかし、繊維事業やエレクトロニクス事業の業績が、世界的な景気低迷の影響を受け営業損失が拡大したこと、収益を支えるブレーキ製品事業も業績は回復傾向にあるものの前年同期比では大幅な減益となったことなどにより、減収減益を余儀なくされました。

その結果、当第2四半期の連結業績は、売上高115,021百万円(前年同期比25.0%減)、営業損失846百万円(前年同期比4,011百万円の悪化)、経常利益556百万円(前年同期比91.6%減)、四半期純損失3,948百万円(前年同期比7,694百万円の悪化)となりました。

今後の成長戦略と展望

当社グループは、太陽光エネルギーや燃料電池などの分野で、地球温暖化阻止に貢献する環境技術確立しつつあります。これらの新規事業をはじめ、すべての事業分野で経営の重心を「環境」「エネルギー」に移し、海外展開や設備投資を積極的に行うことにより、「環境カンパニー」として当社グループの大きな成長を図ってまいります。

「環境カンパニー」の主力事業として、太陽光発電に欠かせない太陽電池モジュール製造設備があります。この事業において、当社グループは国内シェアトップクラスの実績を持ち、世界シェアの拡大のため、販路拡大を急ピッチで進めています。米国のグリーン・ニューディール政策や各国の環境政策に対応し、事業をさらに拡大してまいります。

また、燃料電池の重要部品であるカーボンセパレータも主力事業として位置づけており、当社グループの燃料電池セパレータは、質・量ともに世界最高レベルにあります。2009年5月から市販が開始された家庭用燃料電池「エネファーム」向けの需要が拡大しているため、2009年10月には千葉市に新工場を竣工し生産能力を強化しました。同時に、今後主力となっていく車載用セパレータの事業化を目指しており、次世代の燃料電池車の普及に応じて急成長を期待しています。また、当社グループは燃料電池の劇的なコスト低減のカギとなる白金触媒の代替としてカーボンアロイ触媒を

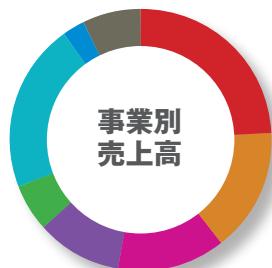
開発しました。カーボンセパレータとともに、燃料電池の本格普及に貢献していきたいと考えております。

さらに、植物由来のプラスチック製造のために不可欠な改質材「カルボジライト」、自動車や産業機械・建機などのエネルギー回生や自然エネルギーの出力安定化に寄与する電気二重層キャパシタなど、当社グループには今後成長が見込まれる、さまざまな環境ビジネスが芽生えてきています。

世界各国の環境政策は、当社グループにとって強力な追い風です。これから本格化する低炭素社会の中で、当社グループは「環境カンパニー」として、人類社会に必須の存在を目指してまいります。

中間配当について

当社グループでは、安定した配当の確保が株主の皆様への責務と考え、年間15円の配当を基本とし、収益の向上に応じて増配などの利益還元を行うことを方針としております。当期の業績は厳しい状況が続いておりますが、皆様への安定的な配当の維持を重視し、中間配当は、前期と同額の1株当たり7円50銭とさせていただきます。なお、当期の年間配当額は、中間配当を含め、1株当たり15円を予定しております。



売上高構成比率

■ 繊維	24.4%	■ 化学品	5.8%
■ ブレーキ製品	15.2%	■ エレクトロニクス	20.8%
■ 紙製品	13.3%	■ 不動産	2.8%
■ 精密機器	10.6%	■ その他	7.1%

事業別売上高はセグメント間の内部取引分を含んでおりませんが、営業利益または営業損失は内部取引分を含んでおります。

繊維

売上高	28,121 百万円
前年同期比	20.2%減
営業損失	1,235 百万円
前年同期比	558百万円悪化

綿・化繊糸および布、不織布、スパンデックス製品など

繊維事業は、製造費や販管費の削減を進めましたが、景気低迷と消費者の低価格志向により高級品を中心に百貨店や量販店での衣料消費が落ち込み、輸出の減少も加わったため、シャツやデニム地の販売が低迷し、前年同期比で減収となり、損失が拡大しました。



ドレスシャツ

ブレーキ製品

売上高	17,522 百万円
前年同期比	37.6%減
営業利益	809 百万円
前年同期比	74.7%減

摩擦材、ブレーキアッセンブリなど

ブレーキ製品事業は、国内市場はエコカー減税や補助金などにより回復傾向にあるものの、世界経済の悪化による自動車販売の低迷、北米市場や新興国市場への輸出減少、それに伴う在庫調整などから国内・海外ともに自動車生産が大幅に減少した影響を受け、前年同期比で減収・減益となりました。



摩擦材

紙製品

売上高	15,255 百万円
前年同期比	9.0%減
営業利益	899 百万円
前年同期比	95.5%増

家庭紙、洋紙、成型加工製品、パッケージ製品など

紙製品事業は、家庭紙製品が、原料・燃料費や減価償却費などの生産コストが低下したことから増益となり、電報関連製品も好調に推移しましたが、ファインペーパーやプリンター関連製品の売上が減少したため、前年同期比で減収・増益となりました。



家庭紙

ファインペーパー

精密機器

売上高	12,242 百万円
前年同期比	34.3%減
営業損失	127 百万円
前年同期比	1,153百万円悪化

太陽電池製造設備、精密加工部品、プラスチック成形品など

精密機器事業は、主力の太陽電池製造設備が、世界的な景気後退の影響から太陽電池メーカーの大型設備投資が縮小したため、売上が急激に減少しました。また、自動車向け精密加工部品や家電向けプラスチック製品なども低調だったため、前年同期比で減収となり、損失の計上を余儀なくされました。



太陽電池モジュールラミネータ

化学品

売上高	6,688 百万円
前年同期比	22.1%減
営業損失	223 百万円
前年同期比	949百万円改善

ウレタン、カーボン製品、高機能化学品など

化学品事業は、売上が減少したものの、高採算商品への特化や固定費の圧縮など収益改善を図ったことに加え、環境関連製品である燃料電池セパレータの販売増、高機能性樹脂素材「カルボジライト」や電気二重層キャパシタの収益改善などにより、前年同期比で減収ながら、損失は縮小しました。



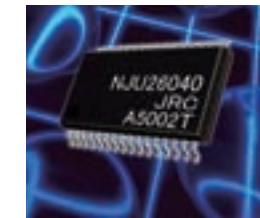
燃料電池セパレータ

エレクトロニクス

売上高	23,880 百万円
前年同期比	30.2%減
営業損失	2,635 百万円
前年同期比	1,439百万円悪化

半導体、電子部品、電子機器、無線機器など

エレクトロニクス事業は、中国の携帯電話機向けマイクロ波デバイスが好調だったものの、世界同時不況の影響を受け、主力の半導体製品の売上が大幅に減少し、マイクロ波管・周辺機器、マイクロ波応用製品も減収となったため、前年同期比で減収となり、損失が拡大しました。



半導体製品

不動産

売上高	3,243 百万円
前年同期比	0.4%増
営業利益	3,070 百万円
前年同期比	76.9%増

土地・建物の賃貸、宅地分譲など

不動産事業は、旧浜松工場跡地にある大規模商業施設の店舗拡大に伴い土地賃貸収入が増加したことや、子会社でのリフォームマンション販売が好調だったほか、分社化に伴い子会社への新たな賃貸が開始されたことなどにより、前年同期比で増収・増益となりました。



土地賃貸物件

綿100%次世代ノーアイロンシャツ 『アポロコット』の販売開始

当社グループでは、1993年に世界に先駆けて形態安定シャツを世に送り出してから、これまでに1億枚を超えるシャツを販売してまいりました。この確かな実績をもとに、日清紡テキスタイル(株)が綿100%のシャツでは不可能とされていたウォッシュ&ウェア(W&W)性※4.0級を実現させ、これまでとは次元の異なる次世代ノーアイロンシャツ「アポロコット」が完成しました。

「形態安定シャツといっても、結局はアイロン掛けが必要では？」という印象をお持ちの方も、「アポロコット」は高次元のノーアイロン性能により、**洗濯後のシワが95%カット**(従来品は50%カット)されるため、そのような心配はいりません。さらにクリーニング代やアイロン掛けの時間・電力を節約でき、ひいてはCO₂排出量の低減にもつながるなど、大きなメリットを生み出します。

当社グループは、「環境カンパニー」として、これからも生活に役立ちながら環境保護に貢献できる商品の開発を進めていきます。

※W&W性とは洗濯後のシワの残り具合を1~5級で表す指標。等級が大きいものほど、シワが少なくなります。

アポロコットの展開

- 現在、大手紳士服チェーンにて販売中
- 2010年春夏向けで全国の大手百貨店でも販売開始予定
- 海外への輸出も逐次実施予定



APOLLOCOT

《アポロコットの特長》

- 驚異のW&W性4.0級** … シワを気にすることなくノーアイロンで着用可能
- 優れたプリーツ性** …… 洗濯を繰り返してもプリーツ(折り目)がくっきり
- 縫目シワの抑制** …… 洗濯を繰り返しても縫目シワなくスッキリ
- 着用シワの抑制** …… 長時間の着用でもシワのない美しさをキープ
- 良好な着用感** …… 綿100%ならではの風合いと優れた吸湿性で着心地も爽やか
- 環境配慮** …… アイロン掛けの電力を節減し、CO₂排出量の低減にも寄与

アポロコットの開発経緯

最高峰のノーアイロンシャツを創出すべく、3年前にプロジェクトを立ち上げ、原綿の選定から紡績・織布・加工・縫製に至るまですべての工程を見直し、約15,000通りの様々なラボテストを実施しました。

その結果、最適な織物設計とナノレベルのコントロール技術を応用した新加工法を見出すことに成功。生地加工の量産化技術や縫製ノウハウを確立し、まったくシワが気にならないW&W性4.0級を実現する画期的なシャツを完成させました。

燃料電池セパレータの新工場完成

2009年10月、千葉市緑区に燃料電池セパレータの新工場が完成しました。新工場は、今後予想される家庭用燃料電池「エネファーム」の普及による市場の急速な拡大に対応するため、美合事業所(愛知県岡崎市)からの設備移設に加え最新の製造設備を順次導入し、燃料電池年間2万台に相当するセパレータの生産体制を構築していきます。

当社グループの日清紡ケミカル(株)では国内家庭用燃料電池メーカー各社にカーボンセパレータを供給しており、高いシェアを獲得しています。新工場の完成により、当面は年間30~50億円の売上を見込んでおりますが、将来的には燃料電池車向けセパレータの開発・製品化を進め、さらなる事業の拡大を図っていきます。



日清紡ケミカル(株) 千葉事業所

「緑の募金」への寄付を通じて 森林づくりに貢献

当社グループは、環境問題への取組みは、企業の存在と活動に必須の要件であると考え、積極的に行動してまいりました。今回で2回目を迎えた「緑の募金」への寄付もその取組みの一環です。株主優待として「緑の募金」をご選択いただいた株主様のお申込み分1件あたり3,000円を、当社が取りまとめて寄付いたします。

2009年度の募金には、多くの株主様からのご賛同をいただき、124件372,000円分の寄付が集まりました。これに当社と当社グループの従業員からの寄付を加えた総額100万円を、去る9月15日、(社)国土緑化推進機構に贈呈いたしました。「環境カンパニー」を目指す当社グループは、ステークホルダーの皆様とともに、この「緑の募金」を通じ森林づくりにこれからも貢献していきたいと考えています。



(右) (社)国土緑化推進機構 副理事長 谷 福丸 氏
(左) 当社 取締役 専務執行役員 竹内 伸二

連結貸借対照表

単位:百万円(未満切捨)

科目	当第2四半期末 2009/9/30現在	科目	当第2四半期末 2009/9/30現在
資産の部		負債の部	
流動資産	129,019	流動負債	90,395
現金及び預金	20,506	支払手形及び買掛金	22,514
受取手形及び売掛金	55,662	短期借入金	31,611
有価証券	1,325	未払法人税等	1,602
商品及び製品	20,469	引当金	207
仕掛品	14,967	その他	34,460
原材料及び貯蔵品	8,515	固定負債	70,006
その他	7,910	長期借入金	15,136
貸倒引当金	△ 340	退職給付引当金	21,059
		引当金	154
		負ののれん	1,629
		その他	32,027
固定資産	223,574	負債合計	160,402
有形固定資産	118,014	純資産の部	
建物及び構築物	51,641	株主資本	172,073
その他	66,372	資本金	27,587
		資本剰余金	20,400
無形固定資産	4,223	利益剰余金	125,125
のれん	723	自己株式	△ 1,041
その他	3,499	評価・換算差額等	9,750
		その他有価証券評価差額金	15,342
投資その他の資産	101,336	繰延ヘッジ損益	△ 208
投資有価証券	92,173	為替換算調整勘定	△ 5,382
その他	9,685	新株予約権	132
貸倒引当金	△ 522	少数株主持分	10,234
資産合計	352,593	純資産合計	192,190
		負債及び純資産合計	352,593

連結損益計算書

単位:百万円(未満切捨)

科目	当第2四半期 2009/4/1~2009/9/30
売上高	115,021
売上原価	97,215
売上総利益	17,805
販売費及び一般管理費	18,652
営業損失	846
営業外収益	2,258
受取利息	453
受取配当金	1,029
負ののれん償却額	255
雑収入	519
営業外費用	855
支払利息	437
持分法による投資損失	5
雑損失	412
経常利益	556
特別利益	1,403
固定資産売却益	54
投資有価証券売却益	410
確定拠出年金移行差益	937
特別損失	1,466
固定資産売却損	127
固定資産廃棄損	249
投資有価証券売却損	0
投資有価証券評価損	499
ゴルフ会員権評価損	48
特別退職金	272
事業整理損	107
海外訴訟関連損失	161
税金等調整前四半期純利益	493
法人税、住民税及び事業税	1,601
法人税等還付税額	△ 364
法人税等調整額	7,002
少数株主損失	3,797
四半期純損失	3,948

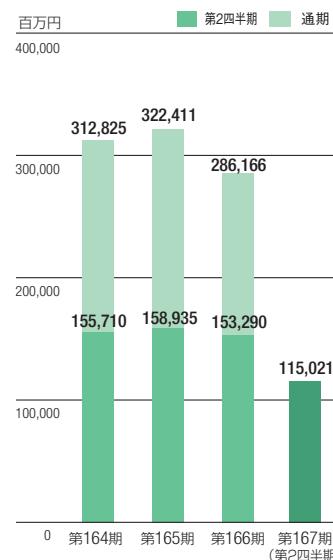
連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(未満切捨)

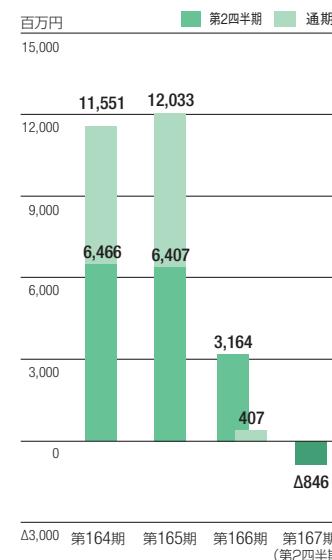
科目	当第2四半期 2009/4/1~2009/9/30
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,355
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,577
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,091
現金及び現金同等物の減少額	10,618
現金及び現金同等物の期首残高	29,202
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	24
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,608

連結決算ハイライト

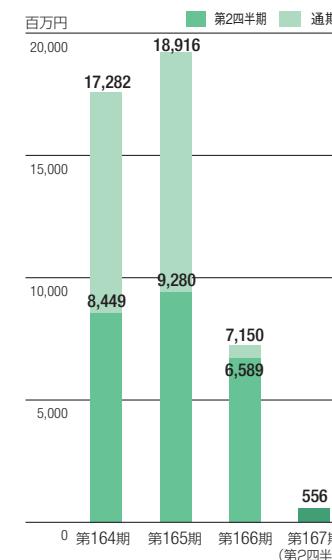
売上高



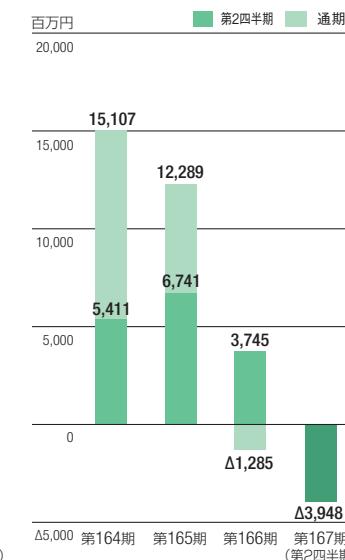
営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



● 会社概要

会社名 日清紡ホールディングス株式会社
 英文社名 Nisshinbo Holdings Inc.
 設立 1907(明治40)年2月5日
 資本金 27,587,976,204円
 従業員数 228名(単体)、12,595名(連結)
 本社 〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11
 大阪支社 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-4-2
 名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-2-38三ツ桃ビル3F
 事業所 島田、藤枝、浜北精機、富士(静岡県)
 美合、美合工機、豊田(愛知県)
 川越(埼玉県)、徳島(徳島県)
 館林(群馬県)、旭(千葉県)
 研究所 中央研究所(千葉県)

● 取締役・執行役員

取締役会長	岩下 俊士	取締役	五十部雅昭
取締役社長 *1	鷗澤 静	常務執行役員	
取締役副社長 *1	戸田 邦宏	取締役	河田 正也
取締役専務執行役員	竹内 伸二	取締役 *2	秋山 智史
取締役常務執行役員	恩田 義人	取締役 *2	花輪 俊哉
取締役常務執行役員	榊 佳廣	取締役 *2	加藤 紘二
		執行役員	村上 雅洋
		執行役員	馬場 一訓

*1は代表取締役 *2は社外取締役

● 監査役

常勤監査役 井出 義男
 常勤監査役 佐塚 政男
 監査役 * 川上 洋
 監査役 * 富田 俊彦

*は社外監査役

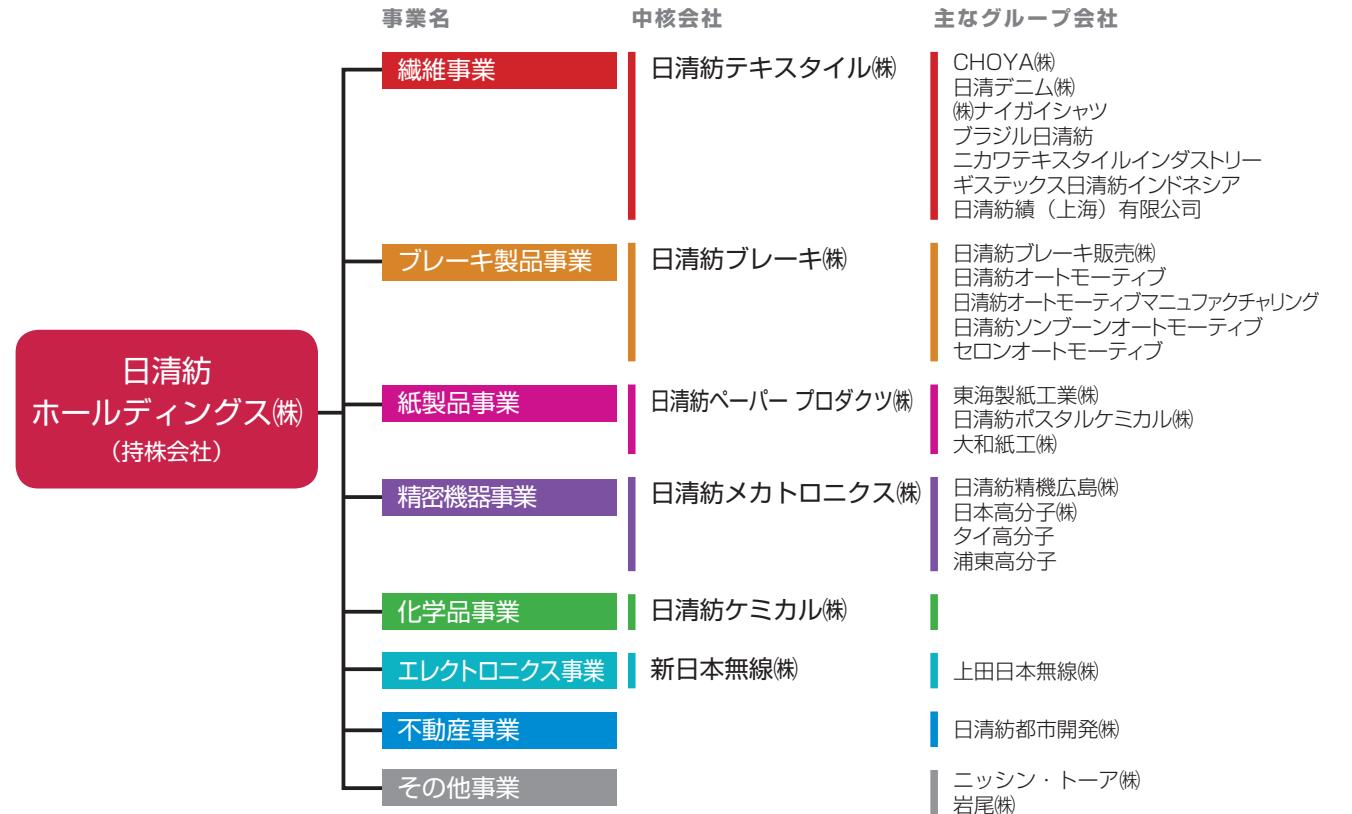
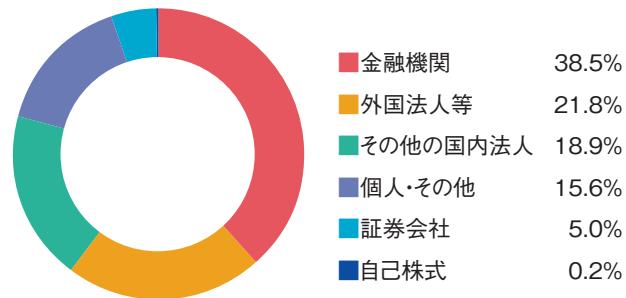
● 株式状況

発行可能株式総数 371,755,000株
 発行済株式総数 184,098,939株
 株主数 13,918名

● 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,204	6.6
富国生命保険相互会社	12,000	6.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,390	5.6
帝人株式会社	6,028	3.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託帝人口)	4,700	2.6
株式会社みずほコーポレート銀行	3,500	1.9
株式会社みずほ銀行	3,500	1.9
日本無線株式会社	3,370	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,280	1.8
JPモルガン証券株式会社	2,913	1.6

● 所有者別株式分布状況



Webサイトのご紹介



当社ホームページでは、当社のイメージキャラクターである佐倉絵麻さんが不思議な森の中を探検するスペシャルサイト「ワンダーフォレスト」をはじめ、IR情報も充実させ、豊富なインフォメーションを掲載しております。今後も株主・投資家の皆様へ向けて当社グループの情報を迅速に提供してまいりますので、どうぞご利用ください。

<http://www.nisshinbo.co.jp/>